

第4回新春凧揚げ大会

2018年1月2日、3日



茅ヶ崎中央 RC の継続社会奉仕事業となっている新春凧揚げ大会も今年で第4回を迎えました。今日は朝8時前から準備にかかり1時間少々でほぼ準備が整い、まずは朝礼から始まり当クラブの会員でもある、実行委員長の NPO 法人茅ヶ崎海岸づくり推進機構の山口洋一郎氏が、大会の趣旨（海岸を昔のような自然な環境の海岸に戻そう）について述べ、現場責任者の副実行委員長三橋雅道氏からは本日のタイムスケジュールと注意事項が、また事務局の金子和氏からは参加団体（柳島凧の会、茅ヶ崎中央 RC、茅ヶ崎海岸開発協同組合、茅ヶ崎まちぢから協議会、中海岸自治会、八大龍王神輿保存会等）の紹介があり、打上花火の合図で開催となりました。

朝礼模様



駅伝の往路は下り車線の海岸側を走るのので、早めに応援に来た市民の中には中海岸子供太鼓の音に誘われ来場し、早くも凧配布の前には行列ができ応援そっちのけで？太鼓の演奏やエイサーの踊りに見入る人達もおりました。

エイサー



中海岸太鼓の会



子供凧配布



焼き餅配布



駅伝最終走者が会場付近を通過すると、再び花火が上がりそれを合図に応援の観客がドット会場へ降りてきました。八大龍王神輿保存会の振る舞い焼き餅に並ぶ人、凧の配布所に並び凧に絵を描き凧揚げに興ずる家族、無料貸し出しの遊具の羽子板で遊ぶ子供や、竹馬を懐かしがって乗り方が分からない子供に教えながら自分が楽しむ親たちと会場は大盛況となりました。

竹馬遊び



羽子板遊び



また2日は、2016-17年米山奨学生のペナン出身アスマ・モレニケさんが、お友達（彼氏？）と一緒に遊びに来てくれ、昨年も甘酒配布の母親のお手伝いをしてくれた2015-17年財団奨学生の片岡舞さんと甘酒配布のお手伝いをしてくださいました。片岡舞さんは舞台上歌も唄い多才ぶりを披露していました。

モレニケさんとメンバー



片岡舞さん



2日には風がなくうまく揚がらなかった連凧も、3日はきれいに揚がり最後まで青空に舞っていました。ただ揚げるにも回収するにもコツがあり柳島凧の会の方の手助けが必要でした。

来年はロータリーさんだけで揚げて下さいねと言われてしまいました。なおEND POLIOの大凧は柳島凧の会で預かってくれることになりましたので助かりました。

茅ヶ崎中央の連凧



RC 財団 100 周年もしっかりアピール

